

クラリスロマイシンの不適正または不必要使用における CYP3A4 関連薬物間相互作用リスクへの実態調査への後方視的症例対照研究

2020年7月から2024年6月までに感染症治療のためにクラリスロマイシンが処方された患者さん

研究協力のお願い

当部では「クラリスロマイシンの不適正・不必要使用がもたらす薬物間相互作用への影響」という研究を行います。この研究は、2020年7月から2024年6月までに東京労災病院にて、感染症治療のためにクラリスロマイシンが処方された患者さんの併用薬（クラリスロマイシンが処方されたときに一緒に服用されていたほかの薬）を調査する研究で、研究目的や研究方法は以下の通りです。直接のご同意はいただかずに、この掲示によるお知らせをもってご同意を頂いたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の主旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報の取り扱い、その他研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡下さい。

(1) 研究の概要について

研究課題名：クラリスロマイシンの不適正または不必要使用がもたらす薬物間相互作用への影響

研究期間：倫理審査承認日 ～ 2027年3月31日

研究責任者：東京労災病院 薬剤部 坂本拓也

(2) 研究の意義、目的について

本研究により、クラリスロマイシンの不適正または不必要な処方が、一緒に服用する薬に対しどの程度影響を及ぼしているかが明らかになることが期待されます。得られた結果をもとに、処方上の注意点を関係者へフィードバックし、必要に応じた改善策を検討し実施することで、抗菌薬適正使用の推進のみならず、薬物間相互作用の回避を通じた薬物療法の有効性および安全性の向上に資する可能性があります。

(3) 研究の方法について（研究に用いる試料・情報の種類）

2020年7月から2024年6月までに東京労災病院にて、クラリスロマイシンが処方された患者さんの併用薬（クラリスロマイシンが処方されたときに一緒に服用されていたほかの薬）を調査し、クラリスロマイシンの肝代謝酵素阻害作用が他の薬物療法にどの程度影響を及ぼしているか併用薬の血中濃度にどの程度影響を与えるかについての検討を行います。

この研究は、患者さんの以下の試料・情報を用いて行われます。

試料：なし

情報：年齢、性別、感染症診断名、診療科、その他にかかっている診療科数、併用薬等

(4) 個人情報保護について

研究にあたっては、個人を直接特定できる情報は使用されません。また、研究発表時にも個人情報は使用されません。その他、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針（文部科学省・厚生労働省）」および「同・倫理指針ガイダンス」に則り、個人情報の保護に努めます。

(5) 研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌などで公表します。

(6) 問い合わせ等の連絡先

東京労災病院 薬剤部 副部長 坂本拓也

〒143-0013 東京都大田区大森南 4-13-21

電話番号：03-3742-7301（代表） 内線：3123

メールアドレス：takuyasakamoto1979@hotmail.co.jp